

### 高津第3地区

## 今年3月で200回超え祝う会 11月には40周年を迎える「いずみ会」



200回開催を祝う会に集まった皆さん

高津第3地区社協が二子老人いこいの家で開催している会食会「いずみ会」が今年3月に開催200回を超え、これを記念し祝う会が開催されました。

「いずみ会」は一人暮らし高齢者の閉じこもり防止や住み慣れた地域でいつまでも元気に楽しく過ごしていただくよう始めた取り組みで、奇数月の第4木曜日に開催し今年11月には40周年を迎えます。

コロナ前は手作りの食事を提供していましたが、コロナ後は感染防止の観点からお弁当に変わり、健康体操やハンドベルなどアトラクションにも力を入れていて、利用者の方は毎回楽しみに来ていただいています。



現在のお弁当



以前の手作り料理

### 橘地区

## 久しぶりの「ふれあい会食会」を開催 プラザ橘（高津市民館 橘分館）で賑やかに



橘地区社協では、7月19日（金）プラザ橘で久しぶりの「ふれあい会食会」を開催しました。

コロナ禍により長い間会食会を開催していませんでしたが、参加された皆さんはみんなそろっての久々の会食に口々に「美味しいです、美味しかったです」と言っていたので、「次は10

月ですね」と楽しみにされておられました。

カレーライス、マカロニサラダの調理にあたった女性民生委員の皆さんも、経験のない方も多い中で、先輩方が書き残されたレシピや写真をもとに、思ったよりスムーズに調理でき、大変な中でも「楽しかった」との感想を残されました。

編集委員 横沢 かつ子 矢島 清美 小柴 博 小林 美和子 栗田 栄治 (順不同)

この広報誌は共同募金の分配金で作成されています。

### 高津区の福祉

# おあしす

希望の泉

#### 今号のトピックス

- ・認知症カフェがオープン **2**
- ・健康福祉まつり **2**
- ・今年も移動動物園 **3**
- ・介護教室を開催 **3**
- ・いずみ会が200回 **4**
- ・久しぶりのふれあい会食会 **4**

## 第59号



(社協の会章)

令和6年9月1日

発行 川崎市高津区社会福祉協議会

川崎市高津区溝口1-6-10 てくのかわさき3階 福祉パルたかつ内

連絡先 TEL 044-812-5500 FAX 044-812-3549

https://takatsuku-shakyo.jp/

E-MAIL: info@takatsukushakyo.com

発行人 富田 誠 (高津区社会福祉協議会会長)

編集人 おあしす編集委員会



## 「新」しいことに チャレンジする「町」でありたい

### 高津区社会福祉協議会との 協働活動目指して

後列左から  
総務副部長 保科町内会会長 町内会副会長  
前列左から  
子ども会相談役 総務部長 町内会副会長

千年新町町内会は昭和30年に設立。現加入世帯数は600となります。その「千年新町」の正式読みは「ちとせしんちょう」ですが、生まれて50年、私は「ちとせしんまち」で育ちました（笑）皆さま馴染みのある方でお読みいただけたらと思います。新町に親しみを持っていただけるだけでありがたいことなので（笑）

さて、令和のいま、町会という組織の在り方、存在意義をどのような発信をすれば受け止めていただけるのか？様々な世代に向け、しっかりと考え直す時期に来ていると感じています。過去の取組みを否定するのではなく、先人たちをリスペクトしながらも、その形に依存しない柔軟な考えをもった運営。学校、家庭内でも子どもへの教育は大きな変化をしています。社会での働き方、ビジネスモデルも同様です。

そうした変化に対応している世代（世帯）こそ、未来の町を支えてくれる担い手になるという一つの考えのもとに、会員と非会員の皆さまに発信をして現状出来るサービス、その提供をすることを大事にしていきたいです。全てはバランスで、そのバランスを引き出すための動きが大事と考えています。

役員は30代から登録があり、イベントごとにお手伝いいただく仲間には20代も多くいます。新しいことにチャレンジをしながら、祭りごとに限らず老若男女が様々な場面で関われる町会運営を目指します。

民生委員児童委員皆さまの活動で新町集会所をご利用いただくことがございますが、障害ある方が参加できる防災訓練に、車いす利用体験会等、協働で取り組むことを検討、実施をしていきたいと思っております。社会福祉協議会の益々のご発展をご祈念申し上げます。



## 「認知症カフェ」が末長、新作と続々オープン

6月18日（火）SONPOケアラヴィーレ溝の口で「みんなでつくる末長カフェ」がオープンしました。このカフェは、地域の方々が誰でも気軽に立ち寄り、心配事の相談や情報の共有など、おしゃべりしながら楽しいひとときを過ごせる場所として開設したもので、7月16日には第2回目を開催しています。

また、7月10日（水）には、新作第一町内会の新作会館で「新作ふれあいカフェ」がオープン。区内で続々認知症カフェの取り組みが進んでいます。

たかつ区健康福祉まつり

## ケイリンやミニボッチャ、歌声喫茶などイベント

「たかつ区健康福祉まつり」が同実行委員会主催で7月13日（土）溝の口駅前の高津市民館で開催され、区民など老若男女約1,100人が参加して各種イベントなどを楽しみました。

このまつりで高津区社会福祉協議会は、ケイリン体験とミニボッチャ大会、歌声喫茶、フライングディスク・ペガールボール体験、親子ヨガを担当しました。



- 上左：歌声喫茶はたくさんの人で盛り上がりました
- 上右：ケイリン体験で自転車を競う親子連れグループ
- 下右：ミニボッチャ大会は皆さん一球真剣そのもの
- 下右：第1回大会で優勝した末長いこいの家「スエコ・デラックス」チーム



## 高津第1地区

今年も移動動物園が大盛況

ひよこ、ヤギ、ポニーなどに笑顔の子どもたち



高津第1地区社協は8月7日（水）、第28回「夏休みこどものつどい」を開催し今年も大盛況でした。会場となった溝の口南公園には新作にある「福田牧場」から移動動物園がやってきて、晴天の中、近隣の子どもたちやその保護者など約700人が動物たちとふれあいながら楽しんでいました。

## 高津第2地区

「家庭での介護教室」を開催  
高齢者の健康と安全などをテーマに



6月18、19日の2日間、令和6年度「家庭での介護教室」を福祉パルたかつ研修室で開催しました。主催は高津第2地区社協厚生福祉部。

8名が参加した今回の教室は、日程が短縮されたこともありテキストも一新し「1. 高齢期の健康と安全、

2. 自立した生活を続けるために、3. 地域における支援活動」などをテーマに開催しました。

将来、家族など身近な人が介護を必要となった時や、自分自身が必要となった時、また近くに介護を必要とする人がいた場合の助けになるために、同教室では1日目に健康寿命、フレイル、健康管理などの講習を行い、2日目には自立した生活を続けるために車いすなどを使って実習を含めた講習を行いました。

## いこいの家7館に大型テレビモニター



当協議会の故斉藤二郎前会長のご遺族から昨年いただいたご寄付で、高津区内の7つのいこいの家に大型のテレビモニターを6月に設置しました。利用者から「大きくて見やすくなった」と評判は上々です。